

平成28年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

生活改善グループ活動を基盤とする「かりんとう」生産販売と地域活性化

○氏名又は名称 農事組合法人 畦道グループ食品加工組合（代表 渡邊 晃子）

○所在地 大分県日田市

○出品財 農産（農産加工品）

○受賞理由

・地域の概要

日田市は、大分県の北西部、北部九州のほぼ中央に位置し、総面積は66,619ha、うち林野面積は78.8%（52,485ha）を占める。耕地面積は5.4%（3,590ha）でその多くが周辺部の台地や山間地にあり、日本なしの栽培や畜産業が盛んである。年間を通して寒暖差が大きく冬には積雪もみられる気象条件下にある。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

「農事組合法人畦道グループ食品加工組合」は、昭和52年に設立された生活改善グループ「畦道グループ」を基盤とし、「かりんとう」の製造・販売に取り組む。昭和61年に法人化を図り本格的に事業を開始。自家農業とグループ構成員の活動を明確に区分し、各場面でそれぞれの活動を使い分けつつ、「身の丈にあった範囲」で事業を展開。平成26年度の売上高は1,100万円で、収益の確保や短期・長期の財務内容において高い安全性を実現している。

・受賞者の特色

（1）女性の能力発揮とワークライフバランスに配慮した労働環境の整備

経営方針を7名の女性組合員全員で決定し、給与面においても役職に関わらず同一の時間給で支給。組合員全員がかりんとうの全製造技術等を習得することにより、フレックスタイム制でも安定的な業務遂行を可能としている。

さらに、中小企業退職金共済事業にも加入し組合員の福祉の増進を図っている。

（2）地域産品の開発及び起業活動を展開することによる地域の活性化

① 消費者からの意見も取り入れながら、地域の食材の活用を図り、様々な種類の「かりんとう」の開発・改良・販売活動に取り組んでいる。

② 「畦道グループ」の活動を通じて培ってきた起業ノウハウを活かし、他の生活改善グループの女性とともに、市内の空き店舗を活用した直売所と農家レストランを併設する店舗の開店などにも参加している。

③ かりんとう作りを通じて子ども達への食育・食農を支援している。

・普及性と今後の発展方向

女性グループによる起業活動の推進に当たって、構成員の多様な働き方の実現と、様々な方式での地域活動への参画を実現していくモデルとなる事例である。生活改善運動を基礎とした商品開発、起業支援、地域貢献は、女性ならではの発想に基づくものであり、地域の活性化にも広く寄与していくことが期待される。